



奈良県の世界遺産

世界遺産は国内25件のうち3件が奈良県に



世界遺産リストへの登録数は、国内には25件(文化遺産20件、自然遺産5件)あり、うち、本県には3件(文化遺産)が登録されています。さらに2007(H19)年には、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」が登録を目指す暫定リストに追加されています。

世界遺産には、文化遺産・自然遺産・複合遺産の3種類があり、有形の不動産が対象となっています。文化遺産は顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡、文化的景観などで、自然遺産は顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、景観、絶滅のおそれのある動植物の生息・生息地などを含む地域で、複合遺産は文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えている遺産とされています。

2023(R5)年9月現在、世界遺産リスト登録件数は1,119件で、その内訳は文化遺産933件、自然遺産227件、複合遺産39件となっています。

奈良県の世界遺産

資料：UNESCO(World Heritage List)

■ 法隆寺地域の仏教建造物(1993(H5)年12月登録)

法隆寺、法起寺

■ 古都奈良の文化財(1998(H10)年12月登録)

東大寺、春日大社、興福寺、元興寺、唐招提寺、
薬師寺、春日山原始林、平城宮跡

■ 紀伊山地の霊場と参詣道(2004(H16)年7月登録)

《霊場「吉野・大峯」》

吉野山、吉野水分神社、金峯神社、
金峯山寺、吉水神社、大峰山寺

《「参詣道」》

大峯奥駈道(玉置神社含む)、
熊野参詣道小辺路

■ 飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群

(2007(H19)年1月暫定リストに追加)





国宝・重要文化財

国宝・重要文化財は1,331件(全国3位)



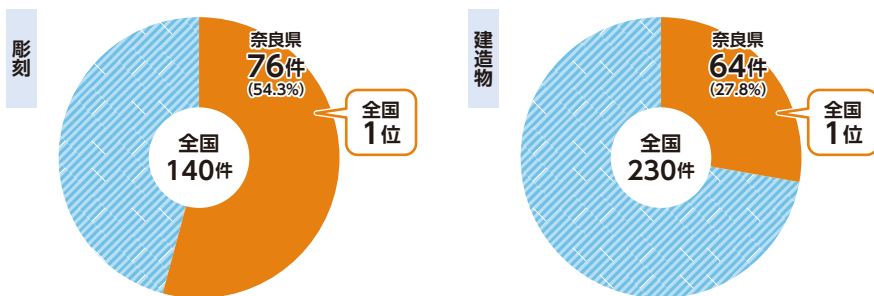
国宝・重要文化財の件数は、奈良県は1,331件と、東京都、京都府に続き全国3位となっています。そのうち、国宝の件数は206件と東京都、京都府に続き全国3位となっています。

種別ごとに見てみると、彫刻(ほとんどは仏像)及び建造物の国宝の件数は、ともに全国1位です。彫刻は全国の件数140件のうち54.3%にあたる76件、建造物は230件のうち27.8%にあたる64件が奈良県にあります。

※奈良国立博物館の収蔵品は法人の所在地のある東京都に含まれるため、奈良県の件数には含まれていない。

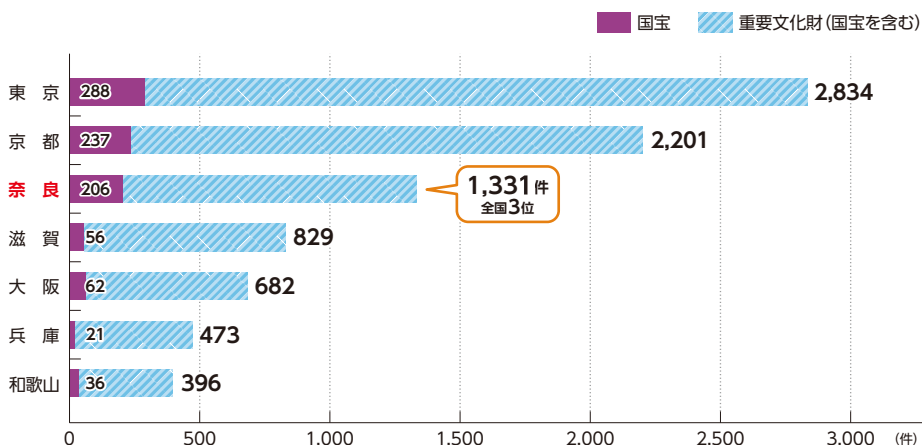
彫刻及び建造物の国宝の件数(2023(R5)年4月1日現在)

資料：文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」



国宝・重要文化財(2023(R5)年4月1日現在)

資料：文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」





史跡名勝天然記念物

史跡名勝天然記念物は149件(全国1位)



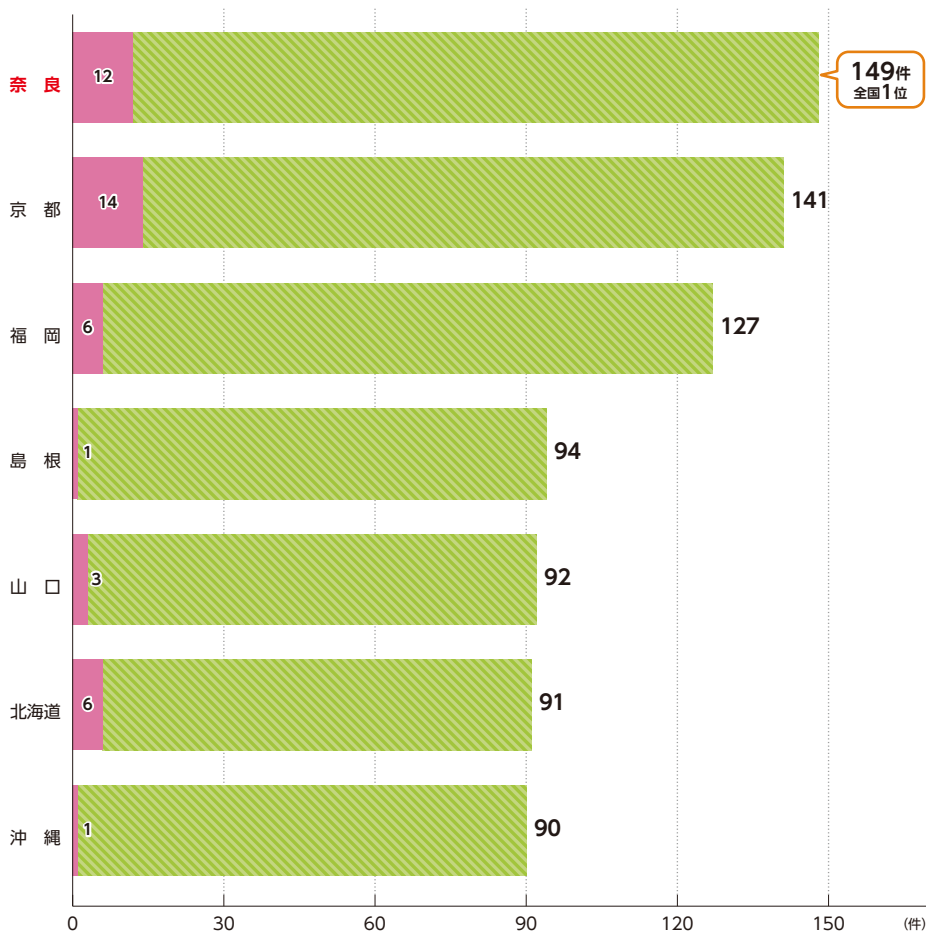
史跡名勝天然記念物の総件数は、奈良県は149件と全国1位となっています。そのうち、特別史跡名勝天然記念物の件数は12件と、京都府に続き2位となっています。

史跡名勝天然記念物(2023(R5)年4月1日現在)

資料：文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」

特別史跡名勝天然記念物

史跡名勝天然記念物(特別史跡名勝天然記念物を含む)





正倉院宝物

正倉院宝物は約9,000点

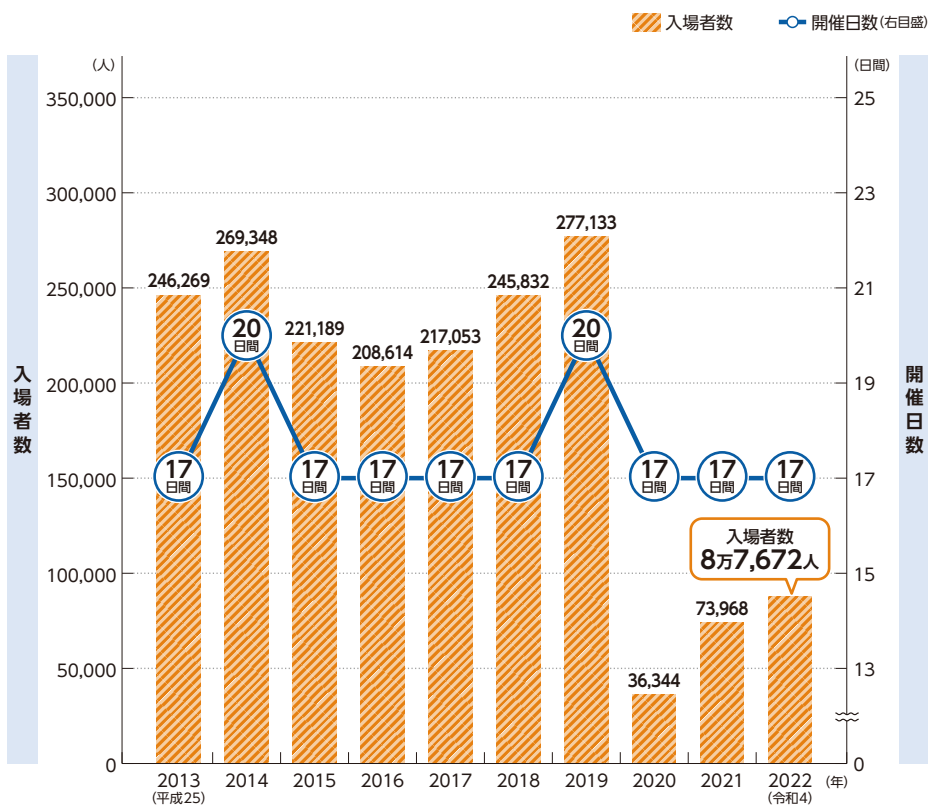
8世紀中頃の奈良時代(756年)に、光明皇后が聖武天皇の御冥福を祈念して、御遺愛品などを東大寺本尊盧舎那仏(大仏)に奉獻されました。その品々は同寺の正倉(現存の正倉院宝庫)に収蔵され、永らく保存されることとなりました。これが正倉院宝物の起こりです。その後、東大寺の重要な法会に用いられた仏具や、平安時代中頃に倉庫から正倉に移された什器類なども加わり、その宝物は整理済みのもので約9,000点という膨大な量となっています。現在は宮内庁の所管におかれ、国宝・重要文化財には指定されていません。

なお、正倉(正倉院宝庫)は1997(H9)年に国宝に指定され、翌年「古都奈良の文化財」の「東大寺」の一部として、世界遺産リストに登録されています。

毎年秋には、奈良国立博物館でその宝物の一部が「正倉院展」として公開され、国内外から多くの方が見学に訪れます。

正倉院展入場者数

資料：奈良国立博物館





文化活動(1)

「文化・芸術」を行う県民の割合は、全国5位



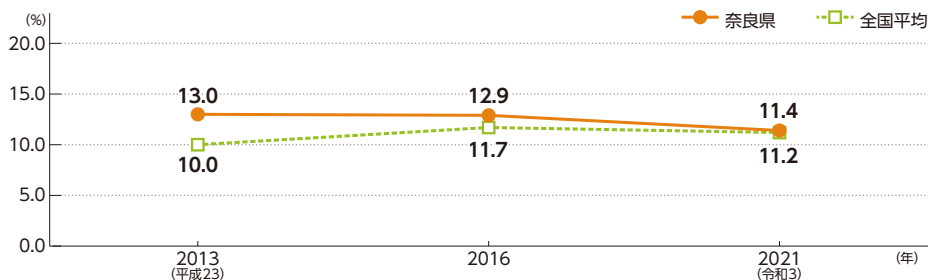
「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率のうち、2021(R3)年度の「文化・芸術」を行う県民の割合は、全国5位で全国平均を上回っています。

種類別に行動者率を見ると、奈良県では「文化・芸術(11.4%)」は、「パソコンなどの情報処理(17.0%)」、「家政・家事(料理・裁縫・家庭経営など)(14.7%)」に次いで3番目に多いです。

- **学習・自己啓発・訓練**…個人の自由時間を利用して、知識・教養を高めるため、転職・就職のため、あるいは現在の仕事に役立てるためなどの目的で行うものをいう。単に趣味・娯楽としてのお茶、お花、絵画、写真、俳句、楽器演奏、料理、読書などは「学習・自己啓発・訓練」に含まない。
- **行動者数**…過去1年間に該当する文化活動を行った人の数(10歳以上)。
- **行動者率**…行動者数が10歳以上人口に占める割合。

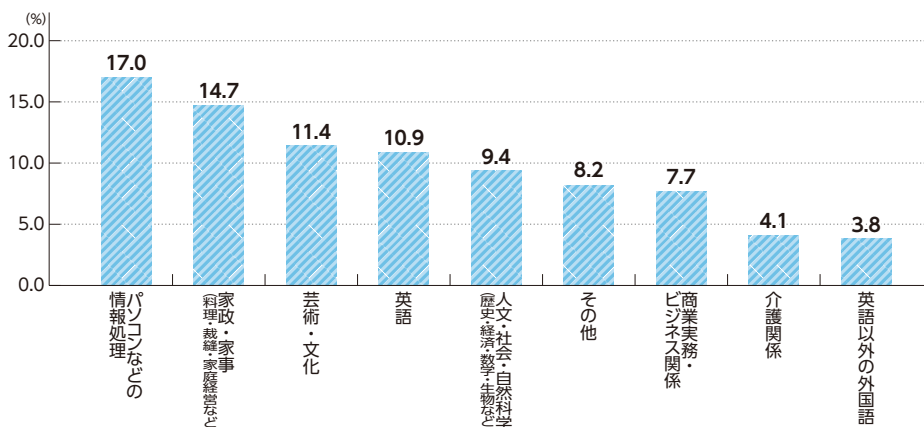
「芸術・文化」を行う県民の割合(行動者率)

資料：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」



「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率

資料：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」



9項目が全国平均を上回る

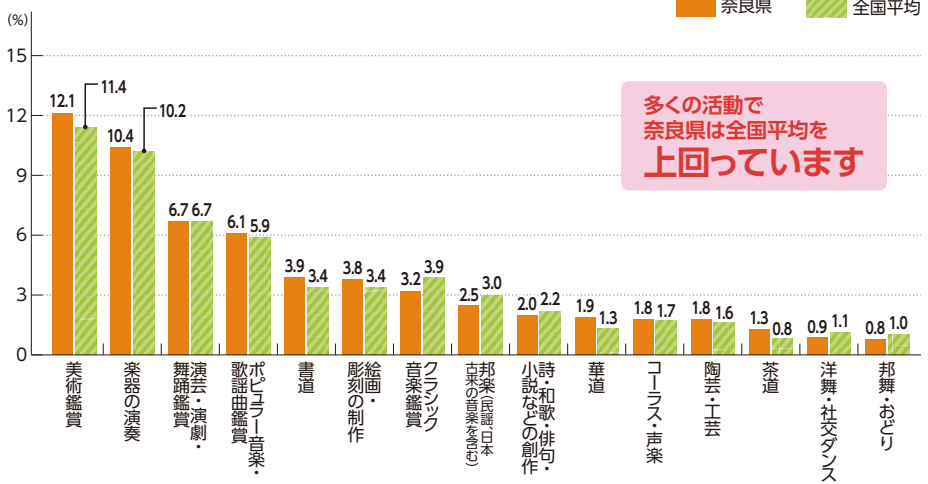


「趣味・娯楽」の種類別行動率のうち、文化活動に関する行動者率は、9項目で全国平均を上回っています。

5年前と比べると行動者率は低下していますが、「楽器の演奏」は全国順位が「18位」から「6位」に上昇するなど、多くの文化活動に関する行動者率が全国10位以内に入っています。

文化活動の種類別行動者率(全国比較)

資料：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」



多くの活動で奈良県は全国平均を上回っています

文化活動の種類別行動者率の全国順位(経年比較)

資料：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」

種類	2016 (H28)	2021 (R3)	種類	2016 (H28)	2021 (R3)	種類	2016 (H28)	2021 (R3)
美術鑑賞	21.4	12.1	絵画・彫刻の制作	4.7	3.8	コーラス・声楽	3.1	1.8
	6位	11位		1位	6位		6位	10位
楽器の演奏	10.0	10.4	クラシック音楽鑑賞	10.4	3.2	陶芸・工芸	2.9	1.8
	18位	6位		8位	27位		1位	9位
演芸・演劇・舞踊鑑賞	15.8	6.7	邦楽(民謡、日本古来の音楽を含む)	2.8	2.5	茶道	2.4	1.3
	7位	8位		16位	30位		4位	1位
ポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞	14.4	6.1	詩・和歌・俳句・小説などの創作	2.8	2.0	洋舞・社交ダンス	1.3	0.9
	7位	8位		7位	14位		14位	20位
書道	4.6	3.9	華道	2.7	1.9	邦舞・おどり	1.1	0.8
	8位	6位		3位	4位		44位	31位



文化活動(2)

「音楽活動」を行う人の平均行動日数が多い



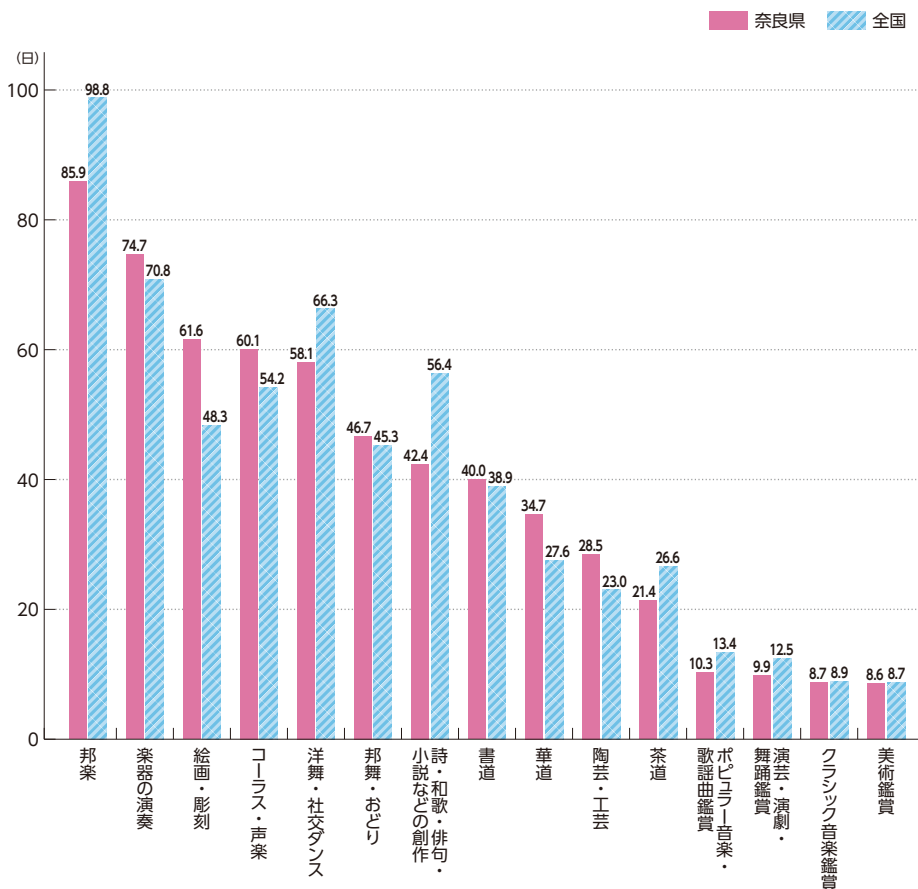
文化活動の平均行動日数を種類別にみると、邦楽、楽器の演奏、コーラス・声楽のような「音楽活動」を行う人は平均行動日数が多い。

平均行動日数をみると、邦楽は85.9日と最も多いものの、全国平均を下回っています。楽器の演奏(74.7日)、絵画・彫刻(61.6日)、コーラス・声楽(60.1日)は、全国平均を上回っています。

●平均行動日数…行動者について平均した過去1年間の行動日数。

文化活動の種類別平均行動日数

資料：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」





図書館・博物館

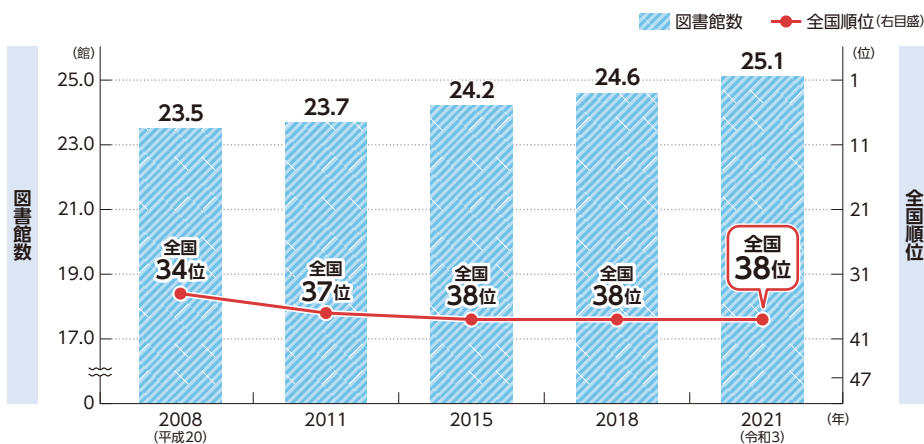
人口100万人当たりの図書館数の全国順位は38位、博物館数は13位



人口100万人当たりの図書館数は25.1館(全国38位)と全国順位は中位より下ですが、博物館数は16.7館(全国13位)と上位に位置しています。

図書館数(百万人当たり)

資料：文部科学省「社会教育調査」、総務省統計局「人口推計」



博物館数(百万人当たり)

資料：文部科学省「社会教育調査」、総務省統計局「人口推計」

